

# ばらんす

第29号

## 編集発行

大田原市総務部企画政策課  
男女共同参画係  
〒324-8641  
大田原市本町1丁目4番1号  
☎ 0287-23-8701  
FAX 0287-23-8748

## 思春期教室

大田原市では、小・中学生を対象に大田原赤十字病院、国際医療福祉大学病院および国際医療福祉大学・大学院の協力を得て、病院の助産師、大学・大学院の講師による思春期教室を行っています。



6月13日(日)

金田北中学校のオーブンスクールで、病院の助産師および大学の先生による思春期教室が開かれた。講話は保護者・地域住民にも開放され、各学年ごとに男女が分かれて行われていた。

最初に聴講した2年女子では「繋がる命の大切さ」と題し、赤ちゃん(生命)誕生のプロセス、第二次性徴期、男性と女性の体と心の変化、その違い、それが自然の摂理である事などが丁寧に説明された。

〈出産の時、赤ちゃんの頭は周囲約33センチ、お母さんの膈の3倍以上あります。陣痛で恥骨が開き赤ちゃんは、小さい後頭部から出るように移動します。お母さんも赤ちゃんも大変な想いで、この世に命を繋いでいます。〉

スライドと人形を使った問い掛けに「お母さん、大変だったのね」とささやきながら頷いていた。

次に聴講した3年男子は、同じようなテーマであったがアプローチが違った。生徒に妊婦ジャケツトを着せる「妊婦体験」。「重い、腰

が痛くなる。足先が見えない」大騒ぎであった。その上で「あなたの彼女が妊娠したら」と、問い掛けた性交・性感染症の話がされた。

最後に1年女子は、「思春期の身体の変化」について学んだ。幼さが残る1年生、明るく元気があった。身体と心の生長期、変化が大きく個人差がある。講師は「OKを目で合図してね」と皆の顔を見回した。「なるほど」と思った。

男女差、年齢をよく考えた講話が行われていると感じた。

男女の意識が芽生える年代の思春期教室、将来、男女共同参画社会を大きく前進させてくれると期待した。



# 絵手紙とともぞむ

ギャラリーことばや

店主 鈴木 啓子さん

(日本絵手紙協会公認講師)

蛇尾川の清流を望む中田原の小高い丘の上にギャラリー『ことばや』がある。店内には、自作のことは絵や著名な作家の詩画が展示されている。

店名『ことばや』は、「人と人とのつきあいの基本は挨拶などの言葉…絵手紙講師として、言葉を扱ってきたこともあり、ことばを大切にしたい。絵手紙は絵が主ではなくことばが主である」との思いから名付けたという。ことばを通して人々のつどいの場となればとの願いもこめられている。



鈴木さんの活動は、地域に、そして県内外に広がっている。学校に絵手紙を広げようという協会の趣旨に従い地域の小学校・高校に講師として指導している。

特に佐良土小学校は、仲間とともに11年も続き、学年に応じたプログラムを

作成し実施している。5年生は6年生の卒業式に先輩を送ることは各自作成し、式当日に展示。6年生は卒業にあたり、親への感謝を絵手紙として表現し、展示している。子の親に対する思いを見て感動する親の姿に触れることもあるとのこと。

それぞれの作品に押す落款は、消しゴムに爪楊枝を使って印を作成させているそうだ。

地域の介護施設からも出前講座をと声を掛けられ、指導のためには、まずおとしよりの知るべからと思ひ、02年2級ホームヘルパーの資格取得、その研修を生かし、おとしよりに絵手紙の楽しさを、仲間とともに伝えている。

年間に書く絵手紙の数は、何千通にものぼる。絵手紙のリレーはめぐりめぐりながら、生きる営みが綴られて届く。

絵手紙の発想は、くらしの中で心の琴線に触れることを表現している。この道に入って14年経過したが、奥は深く答えはない。一生の学びと考えている。

指導者として地域の施設・学校にかかわり、教室をもち出前講座・講演も行う日々である。

絵手紙を通し県内外に広い人脈をもつ鈴木さん。絵手紙で大田原の町づくりをしたいという強い意欲をもっている。こうした鈴木さんの活動にこんなエールを送った方がいる。

——君よ大田原の風になれ——と…。



## 男女共同参画講座

### ～「育ち」について～

8月19日、市総合文化会館において、女子児童の自立支援施設(問題行動等を起こしてしまった児童や家庭環境により生活指導を必要とする児童の自立支援)国立きぬ川学院の板垣辰彦先生による講座が行われた。

講座は、貴重な経験を踏まえ、子どもの「育ち」について

- ◆赤ちゃんの時は、目を離すな。思春期には、心を離すな。
- ◆寒いと会話がはずまない。温かい環境で話すことが大切。
- ◆抱きしめて温める。心を込めておにぎりを作ってあげる。アイコンタクトで話をする。

など、子どもとの接し方がポイントと強調され、終始笑いが絶えない明るい講座が行われた。



板垣辰彦先生

# シリーズ 輝

今回は絵手紙講  
子さん、映画『100  
志』の市内上映を  
代ゆき子さんの

## ドキュメンタリー映画

### 『1000年の山古志』

大田原市上映実行委員長  
屋代 ゆき子さん



上映実行委員長の屋代ゆき子さんは、須賀川に住み農業を営むかたわら県女性農業士として活動している。

今から5年前、

ドキュメンタリー映画『掘るまいか』手掘中山隧道の記録』を新聞で知った。同じ地域性を感じ、数人の仲間と企画し、須賀川地区公民館で上映会を行った。映画を通して、自分たちの手で守ることも、住民の和や絆・郷土愛の大切さを教えられた。また一つのことに向かってみんなで行動したり、協力することに喜びを味わうことができたそうだ。

そして昨年10月、映画『1000年の山古志』をラジオで知り「今回も映画を通してこれからの地域のあり方を、多くの人と一緒に考えることができたら…」という想いで、再び上映会を企画した。

今年1月、須佐木、須賀川に住む10人の女性たち

で実行委員会を作った。後援や協賛を募り、協力者を得てチケットを販売したり、山古志から届いたひまわりの種を会場で配布する準備等に追われた。5月、ビアートホールで行われた上映会は、約六〇〇人が足を運んだ。「大地震にも負けず復興にかける住民の力、伝統を守り受け継いで行く故郷への思いに感動した」と多くの方々から感想が寄せられ、大成功を収めた。

「私たちは辛い大きな災害にも遭わない地域に住み、経済的にも豊かになった。その反面、農山村の人々との絆が希薄になってきているのではないだろうか」と言う。

八月、事後研修と益金20万円を山古志住民会議に寄付するため、実行委員等15人とともに復興の進んだ山古志を訪ねた。出演者宅に立ち寄り交流も行った。



『掘るまいか』の舞台中山隧道の前で

「迎えてくれた一人ひとりの力強い笑顔に感動し、改めて素晴らしい環境の中で生活していることに感謝しなければ…」と笑顔で話すゆき子さん。その傍らで上映会から事後研修にと多大な協力をする夫の恵一郎さんが、うなずきながらやさしく微笑んだ。

## 子育て中の就職活動支援

～ハローワーク大田原

マザーズコーナーのご紹介～



子育てをしながら働きたいと考えているおかあさんこのコーナーがあるのをご存知ですか。

マザーズコーナーは、子育てと仕事の両立を希望する方の相談窓口です。

- ◆子育てに関する様々な情報を知ることができます。(保育施設、保育サービス、子育て支援等の情報)
- ◆託児付きセミナーを開催しています。(応募書類の書き方、面接対策など)
- ◆相談は予約も可能です。



女性の担当者が支援してくれます。



さっそく問い合わせてみましょう。 ☎0287-22-2268(大田原市紫塚1-14-2)



一龍斎貞友さん

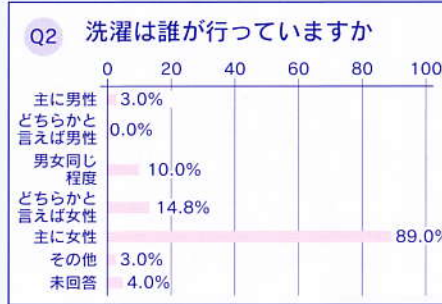
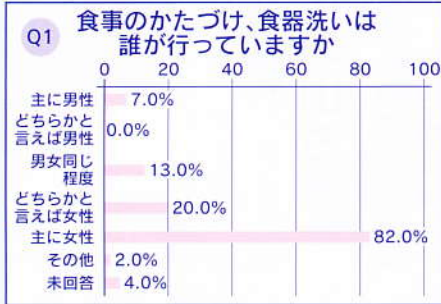
# 風は大田原から、今、活動のとき!

満員御礼

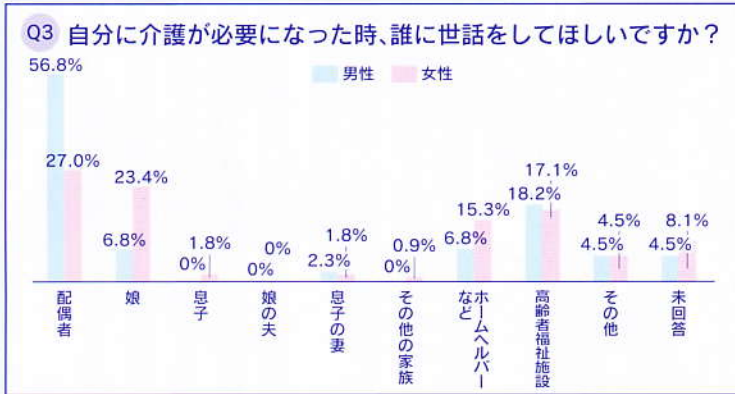
一人ひとりが輝く大田原のつどいを開催。H22.9.12

講師一龍斎貞友さんによる「幸せの黄色い旗」と題した講談を伺った後、臼井佳子アナウンサーをコーディネーターにお迎えし、地元の女性農業士菅谷アサ子さん・男の厨房参加者谷辺範夫さん、そして貞友さんをお迎え、「男の世界・女の領域」という固定観念の強かった世界に一步踏みこんできたみなさんのご苦労話や支えてくれた家族たちの想いをお話いただきました。(主催:大田原市女性団体連絡協議会・市)

つどい会場でのアンケート結果一部をご紹介します



臼井佳子さん



## つぶやき…「大丈夫?」

Q3では、多くのかたが、ご自身の「配偶者」を回答に選ばれました。でも、日常生活では、食事のかたづけや洗濯もほとんどが女性執行型。(Q1・Q2)

いかがですか?あなたの10年後、20年後は?

もう1度考えてみましょう。できることから、ひとつずつ。

## お知らせ

### 平成22年度男女共同参画講演会

講演テーマ/「息子3人 アナウンサー・記者夫婦奮闘物語」

立ち会い出産・育休・子育て…共働きで奮闘する在京の男性アナウンサーを迎え、その笑いあり涙ありのご経験談。

⑧ 海外研修報告会 団初めての英国事情の報告あり(左写真)

「Amour(愛)…共に手を取り、同じ思いをつなげよう」

とき/平成23年1月30日(日)午後1時~午後4時 ところ/大田原市総合文化会館ホール



## 女性に対する暴力をなくす運動 11月12日~11月25日の2週間

暴力で悩んでいる方へ…ひとりで悩まないで…相談してください。勇気をだして…

【相談機関】

大田原市 子ども課/0287-23-8932 (月)~(金)8:30~17:15

大田原警察署/0287-24-0110 いつでもどうぞ

婦人相談所/028-622-8644(月)~(金)9:00~16:00

パルティ相談室/028-665-7714(火)~(日)9:00~16:00(第2水曜日は正午まで)



## 編集後記

秋から冬へ、そして春へと季節が移ろうように…。男女共同参画があたりまえの社会を想像しながら、できることからこつこつとやっていきたいと思う今日この頃です。(佐藤)

## 編集委員

(五十音順)

議 由美子 栗原 敏子 佐藤 長子  
清水麻優美 鈴木 成美 谷辺 範夫

編集委員  
募集中